



教育目標 誰一人取り残さない 子供が育つ学校づくり

## 信用すること 信頼すること 裏切られること

誰でも信用していた人から裏切られた経験はある。学校現場で仕事をしていれば、少なからず「期待を裏切られた」こと、もっと正確に言えば、「裏切られたと感じた」ことがあるはずである。根気強く支援や指導をしてきて、その子供が抱えている課題が解決し喜んで矢先、同じ間違いをしたり、違う場面で問題を起こしたりしてしまう。「最近よくなってきたと思っていたのに…。」「君のことを信じていたのに…。」

ここで考えてみたい。人は、1つの課題が解決すれば、他のこと全てが解決してしまうのだろうか。例えば、国語の学習に対して意欲的になったからといって、全ての教科でも同じように取り組めるようになるのか。人にやさしくできるようになったからといえ、友達と争わないようになるのか。我々大人は、往々にして期待しがちであるが、答えはYESとは限らない。

子供は、決して期待を裏切ったのではなく、冒頭でも記したが、大人が勝手に「裏切られた」と感じているだけなのではないだろうか。よくなった（成長した）ことも「その子」であるし、まだまだ課題が残っているのも「その子」である。

子供を育てる（本校でいえば、「子供が育つ環境をつくっていく」）時に必要なのは、そういった全ての側面を丸ごとひっくるめて「一人の人格ある人間」として受け入れて、信頼していくことだと思っている。人を信じるとは、相手に期待するものではなく、自分への決意なのかもしれない。

「信用」と「信頼」はほぼ同じように使われるが、私は下記のように区別して使っている。

**信用**：ある条件を満たしたことをもとにその人を信じること。

**信頼**：人として、特に条件を設けず、その人そのものを信じること。受け入れること。

（「信用組合」や「信用金庫」はあるが、「信頼組合」や「信頼金庫」はない。）

川上康則氏（東京都杉並区立済美養護学校 主任教諭）が、「教員は感情労働（人と直接的に接することを『なりわい』とする）職業である。」と言っているように、教員は、人を相手にすることを生業としているため、常に緊張がつきまとい、感情にも左右される。ときに感情的になってしまうことがあるのも事実である。

しかし、本校で目指している「子供が主語の学校」をつくっていくためには、自分の感情をうまくコントロールしていく必要がある。教育に携わる一人の大人として、一人一人の子供を無条件で信頼するとともに、支援や指導が思うようにいかないことがあったとしても、子供を一人の人間として丸ごと受け入れられる広い心をもちたい。大人が受け入れることによって、子供たちも同じように我々大人を受け入れてくれるようになるはずである。ここに、教育の根本である「信頼関係」が生まれてくるのである。

校長として、子供たちのために日々尽力してくれている本校職員を信頼しているところである。また、保護者や地域の方に信頼される学校づくりをこれからも引き続き進めていきたい。

【校長 白田 敏幸】

## 【大人の『本気』を見せていただきました ～風祭り太鼓体験会～】

7月9日（火）沢畑若衆会の方4名（宇野一哉さん、小野友寛さん、宇野実さん、小野洋介さん）をお迎えし、「風祭り太鼓体験会」を実施しました。

はじめに、風祭りについての話をお聞きしました。祭りの歴史や地区の人の思いなど、子供たちは、真剣な顔で聞き入っていました。

その後、太鼓の実演をしていただきました。大人が、汗を跳び散らしながら本気で太鼓をたたく姿は圧巻でした。子供たちも、大人の本気に感動していたようです。

最後に、実際に太鼓をたたかせていただきました。太鼓の経験があるなしに関わらず、どの子も、楽しそうに太鼓をたたいていました。

8月31日に行われる風祭りには、地域民として多くの子供が参加してくれることを期待しています。



沢畑若衆会のみなさん



風祭りの由来についてのお話



太鼓体験



大人の本気



1年生はマットをたたいて練習



子供どうしの教え合い



4人で合わせて演奏



## 【子供の姿を共有する場・子供について語る場】

今年度2回目の授業参観・学級懇談会を7月24日（水）に実施しました。

授業参観や学級懇談会は、子供の成長を見ていただくよい機会ですが、それとともに、子供の姿を通して学校と保護者が語り合うことのできるよい機会ととらえています。

学級懇談会では、子供の成長を確認し合うとともに、学校と家庭が同じ歩調・同じ価値観で子供を支援していくことを確認しました。



1・2年生 国語



3・4年生 音楽



6年生 算数



5年生 国語



学級懇談会



## 【北谷地小学校との交流会】

昨年度より再開した北谷地小学校との交流会。第1回目は、1・2年生と5・6年生が北谷地小学校を会場に、3・4年生が谷地西部小学校を会場に行いました。

大人数で学ぶ楽しさを味わうことや他校の友達と話すことは、極小規模である本校にとって、非常に貴重な体験となります。2回目は11月末に実施予定です。



1・2年 だるまさんがころんだ



3・4年 英語で自己紹介



休み時間 ドッジボール



5・6年 合奏

## 【うんとこしょ どっこいしょ】

7月11日（木）のロング昼休みに、1年生が国語の学習のまとめとして、「おおきなかぶ」の劇を発表しました。劇の台詞は、教科書に書いてあるものだけではなく、学びの中で、自分たちで付け加えていきました。また、発表するにあたり、見てほしい人（日頃、学校の中でお世話になっている人）に招待状も書きました。

当日は、招待状をもらった児童だけでなく、ほぼ全校の児童が集まり、さらには、1年生のご家族の方からも見ていただきました。多くの方が集まったため、多少緊張している様子は見られましたが、明るく元気に発表することができました。1年生の成長を感じたところです。

うんとこしょ どっこいしょ



とうとうかぶは ぬけました